

平成28年12月20日
西日本高速道路株式会社

平成29年3月期 中間決算概要

1. 連結決算概要（経営成績）

(単位:億円)

区分		H28年度 上期実績	H27年度 上期実績	増減	H28年度 通期見込 ※1	H27年度 通期実績	増減
営業収益	高速道路事業	4,205	4,040	164	10,068	8,305	1,762
	料金収入	3,747	3,752	▲5 ①	7,422	7,396	26 ⑨
	道路資産完成高	444	275	169 ②	2,619	879	1,740 ⑩
	その他	13	12	0	26	30	▲4
	関連事業	246	265	▲18 ③	601	535	65
	S A・P A事業	173	177	▲4	336	338	▲2
	その他の事業	73	88	▲14	264	196	68
計	4,452	4,306	146	10,669	8,841	1,828	
営業費用	高速道路事業	4,009	3,934	74	10,018	8,267	1,750
	道路資産賃借料	2,593	2,666	▲73 ④	5,282	5,336	▲53
	道路資産完成原価	444	275	169 ⑤	2,619	879	1,740
	管理費用	971	992	▲20 ⑥	2,115	2,051	64
	関連事業	213	231	▲18	547	476	71
	S A・P A事業	140	143	▲3	289	279	9
	その他の事業	73	87	▲14	258	196	61
計	4,223	4,166	56	10,565	8,743	1,821	
営業利益	高速道路事業	196	106	89 ⑦	50	38	11 ⑪
	関連事業	33	33	▲0 ⑧	53	59	▲5 ⑫
	うちS A・P A事業	32	33	▲0	47	59	▲11
計	229	139	89	104	97	6	
経常利益		236	150	86	120	128	▲7
中間(当期)純利益 ※2		166	77	89	84	73	10

※1 「通期見込」欄は、将来見通し、計画の基となる前提、予測を含んで記載しており、実際の業績は今後、様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

※2 「中間(当期)純利益」には、親会社株主に帰属する中間(当期)純利益を記載しています。

※3 億円未満は切り捨てて表示しています。以下同様です。

(注) 当社グループの事業区分及びその主要内容は、以下のとおりです。

事業区分	主要内容	
高速道路事業	高速道路の新設、改築、維持、修繕、災害復旧及びその他の管理等	
関連事業	S A・P A事業	高速道路の休憩所、給油所等の建設、管理等
	その他の事業	受託事業、駐車場事業、トラックターミナル事業及びコンサルティング事業等

※文中の丸囲み番号は、1ページの表に記載の番号と対応しています。

2. 高速道路事業トピックス

(1) 平成28年度上期の実績

- 当社管内の高速道路の通行台数は、前年同期比1.1%増の282万台/日となり、料金収入は、前年同期並みの3,747億円となりました。…①
- 独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構（以下「高速道路機構」といいます。）に対する道路資産賃借料は、前年同期比73億円減の2,593億円となりました。…④
- 管理費用は、構造物補修工事などを下半期に予定していることから、前年同期比20億円減の971億円となりました。…⑥
- 以上のことなどから、高速道路事業の営業利益は、前年同期比89億円増の196億円となりました。※…⑦
- 道路資産完成高は、東九州自動車道（^{しいだみなみ}椎田南インターチェンジ～^{ふぜん}豊前インターチェンジ）の完成などがあり、前年同期比169億円増の444億円となりました。…②
なお、道路建設にかかった経費と同額の債務を高速道路機構に引き渡すため、道路資産完成高は道路資産完成原価と同額となり、道路建設から利益や損失は発生しません。…⑤
- 「平成28年熊本地震」（平成28年4月14日発生）により、九州自動車道等が損傷を受けましたが、応急復旧を終え、本復旧に着手し現在も継続中です。復旧にかかる工事費は、道路建設にかかった経費と同様に、同額の債務を高速道路機構に引き渡すため、損失は発生しません。

(2) 平成28年度通期の見込

- 通期における料金収入は、前期比で微増（⑨）の見込みであり、高速道路事業の営業利益は、前期比11億円増の50億円となる見込みです。※…⑪
- 通期における道路資産完成高は、東九州自動車道の完成に加え、新名神高速道路（^{じょうよう}城陽インターチェンジ（仮称）～^{やわた}八幡インターチェンジ（仮称））の完成などを見込んでいることから、前期比1,740億円増の2,619億円を見込んでいます。…⑩

※ 高速道路事業における季節的変動については、3ページの「4. 決算値の季節的変動」をご覧ください。

※文中の丸囲み番号は、1ページの表に記載の番号と対応しています。

3. 関連事業トピックス

(1) 平成28年度上期の実績

- 営業収益は、S A・P A事業において、熊本地震に伴って営業休止などにより店舗売上が減少したほか、その他の事業においても、受託事業（国、地方公共団体等からの受託工事等）が減少したことなどにより、全体で前年同期比18億円減の246億円となりました。…③
- 関連事業の営業利益は、前年同期並みの33億円となりました。…⑧

(2) 平成28年度通期の見込

- 通期における関連事業の営業利益は、前期比5億円減の53億円を見込んでいます。…⑫

4. 決算値の季節的変動

- 高速道路の料金収入は、上期が下期に比べ気候が良いことや長期休暇が多いことなどから、上期が多くなる傾向があります。
一方、管理費用は、冬期における交通を確保するための雪氷対策や維持修繕関係の工事が下半期に完成することが多いことから、上期よりも下期が多くなる傾向があります。
このため、上期と下期の業績には次のような季節的変動が生じ、結果として上期と下期の営業利益を比較した場合、上期の値が大きくなる傾向にあります。

(単位: 億円)

区分		上期実績	下期見込 ※	H28年度 通期見込 ※	上期比率
営業収益	高速道路事業	4,205	5,862	10,068	41.8%
	うち料金収入	3,747	3,675	7,422	50.5%
	関連事業	246	354	601	41.1%
	計	4,452	6,217	10,669	41.7%
営業費用	高速道路事業	4,009	6,008	10,018	40.0%
	うち管理費用	971	1,144	2,115	45.9%
	関連事業	213	333	547	39.1%
	計	4,223	6,342	10,565	40.0%
営業利益	高速道路事業	196	▲ 145	50	390.3%
	関連事業	33	20	53	61.4%
	計	229	▲ 125	104	220.2%

※ 「下期見込」及び「通期見込」欄は、将来見通し、計画の基となる前提、予測を含んで記載しており、実際の業績は今後、様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

【参考】 個別決算概要（経営成績）

（単位：億円）

区分		H28年度 上期実績	H27年度 上期実績	H28年度 通期見込 ※	H27年度 通期実績
営業収益	高速道路事業	4,198	4,033	10,054	8,286
	料金収入	3,748	3,753	7,424	7,398
	道路資産完成高	444	275	2,619	879
	その他	5	4	10	9
	関連事業	87	102	261	213
	S A・P A事業	52	52	105	105
	その他の事業	34	49	155	107
	計	4,286	4,135	10,315	8,499
営業費用	高速道路事業	3,994	3,922	10,017	8,267
	道路資産賃借料	2,593	2,666	5,282	5,336
	道路資産完成原価	444	275	2,619	879
	管理費用	956	980	2,115	2,052
	関連事業	74	93	240	196
	S A・P A事業	38	39	78	77
	その他の事業	36	53	161	118
	計	4,069	4,015	10,258	8,464
営業利益	高速道路事業	204	110	36	18
	関連事業	13	9	20	16
	計	217	120	57	35
経常利益		242	141	90	70
中間（当期）純利益		180	77	72	41

※ 「通期見込」欄は、将来見通し、計画の基となる前提、予測を含んで記載しており、実際の業績は今後、様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。